

別紙資料④ ■子ども読書活動等に関するアンケート調査結果〔概況〕 【対象】乳幼児・その保護者

〈対象数〉199世帯 〈回答数〉142世帯 ※回収率 71.4%

※「複数回答とした設問(【問4・5・7・9】)」では、設問に対する回答者数を分母として選択肢毎の割合を算出した。(回答比率の合計が100%を上回る場合あり)

≪対象年齢≫

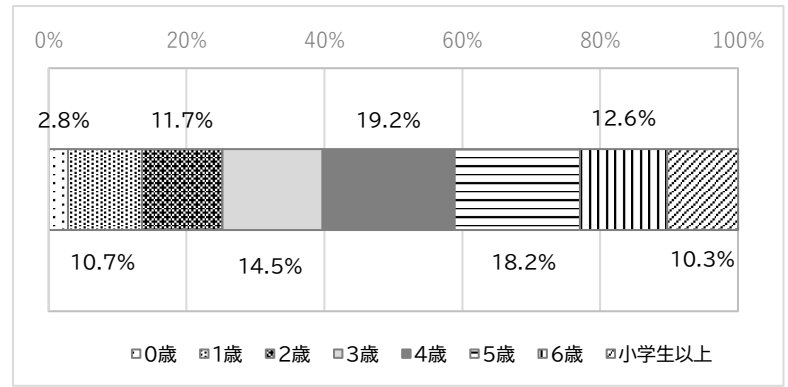
【問1】お子さんの年齢を教えてください。(複数回答)

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 0歳	6	2.8%
2. 1歳	23	10.7%
3. 2歳	25	11.7%
4. 3歳	31	14.5%
5. 4歳	41	19.2%
6. 5歳	39	18.2%
7. 6歳	27	12.6%
8. 小学生以上	22	10.3%

n=142

【読み取れること、ポイント】

- 年齢に偏りなく調査することができた。



≪読み聞かせの実施状況≫

【問2】お子さんに「読み聞かせ」をしていますか。

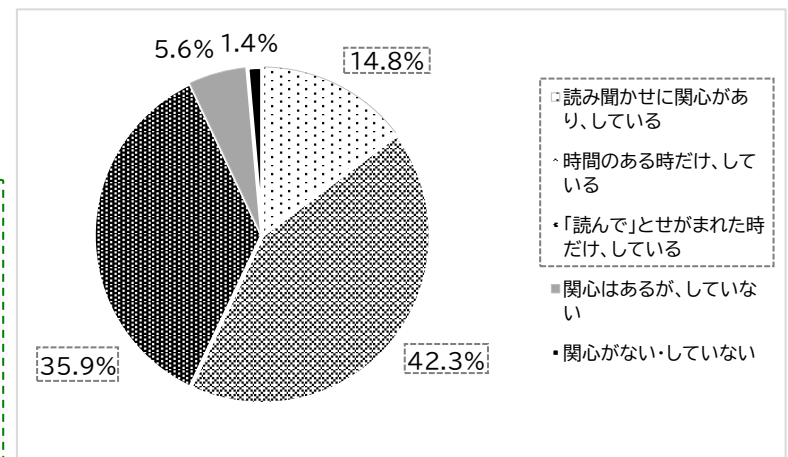
	〈回答数〉	〈割合〉
1. 読み聞かせに関心があり、している	21	14.8%
2. 時間のある時だけ、している	60	42.3%
3. 「読んで」とせがまれた時だけ、している	51	35.9%
4. 関心はあるが、していない	8	5.6%
5. 関心がない・していない	2	1.4%

n=142

【読み取れること、ポイント】

- 「関心がありしている」「時間のある時だけしている」「読んでとせがまれた時だけしている」を合わせると、93%が読み聞かせをしている。
- 「時間のある時だけしている(42%)」が最も多く、多忙な中にも時間を見つけて読み聞かせを行っていることがうかがえる。
- 「せがまれた時だけしている(36%)」に対して、『読み聞かせを通したコミュニケーション等の重要性』を今後も啓発していく必要がある。

補足 ≪別途分析≫「せがまれた時だけ」と回答した半数が、週1回以上の読み聞かせをしていることがわかった。



≪読み聞かせの頻度≫

▶【問3】<【問2】で、1・2・3 と回答された方>

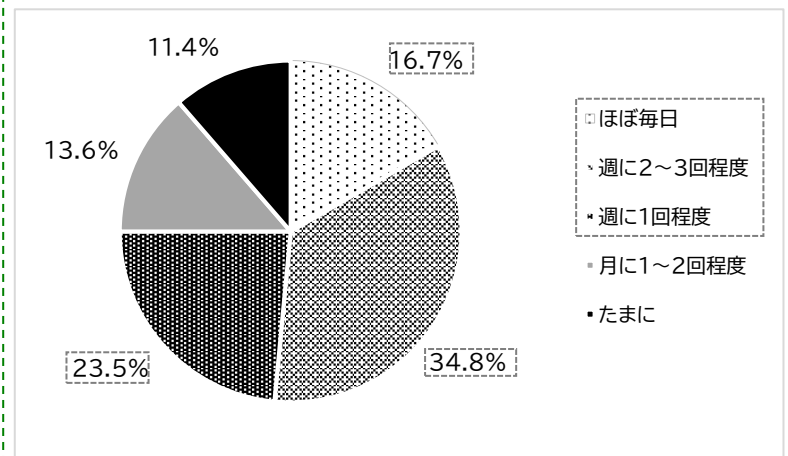
お子さんに“どのくらいの頻度”で、「読み聞かせ」をしていますか。

	〈回答数〉	〈割合〉
1. ほぼ毎日	22	16.7%
2. 週に2~3回程度	46	34.8%
3. 週に1回程度	31	23.5%
4. 月に1~2回程度	18	13.6%
5. たまに	15	11.4%

n=132

【読み取れること、ポイント】

- 「ほぼ毎日」「週に2~3回程度」「週に1回程度」を合わせると、75%が週1回以上の読み聞かせをしている。
- 「週に2~3回程度(35%)」が最も多く、次に「週に1回程度(24%)」と続く。「ほぼ毎日」が17%あり、熱心さがうかがえる。



≪読み聞かせに使う本の調達≫

▶【問4】<【問2】で、1・2・3 と回答された方>

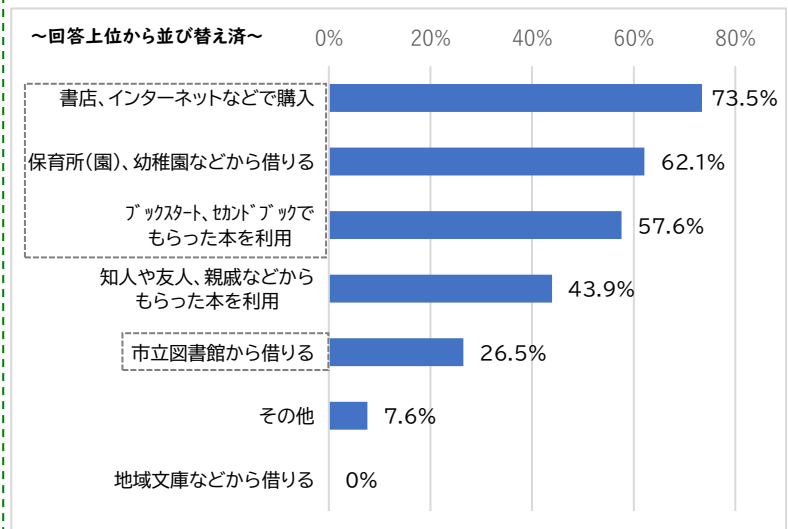
「読み聞かせ」に使う本は、“どのように用意”していますか。(複数回答)

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 書店、インターネットなどで購入	97	73.5%
2. 知人や友人、親戚などからもらった本を利用	58	43.9%
3. ブックスター、セカンドブックでもらった本を利用	76	57.6%
4. 市立図書館から借りる	35	26.5%
5. 保育所(園)、幼稚園などから借りる	82	62.1%
6. 地域文庫などから借りる	0	0%
7. その他	10	7.6%

n=132

【読み取れること、ポイント】

- 「書店、インターネットなどで購入」という借りずに買う選択が最も多い。(74%)
- 「保育所(園)、幼稚園などから借りる(62%)」が多く、保育所等施設が取り組む読書活動の熱心さと、それを有効に活用する保護者の姿がうかがえる。
- 「ブックスター、セカンドブックでもらった本を利用(58%)」も多く、子ども読書の出会いの場として、今後も継続していきたい。
- 「市立図書館から借りる(27%)」は思いのほか少なく、乳幼児をもつ保護者が図書館に行く時間・手間、また館内での過ごし方等を懸念し、来館を控えている可能性がある。
- 「その他」では、「知育雑誌」「絵本の月刊誌」等があった。



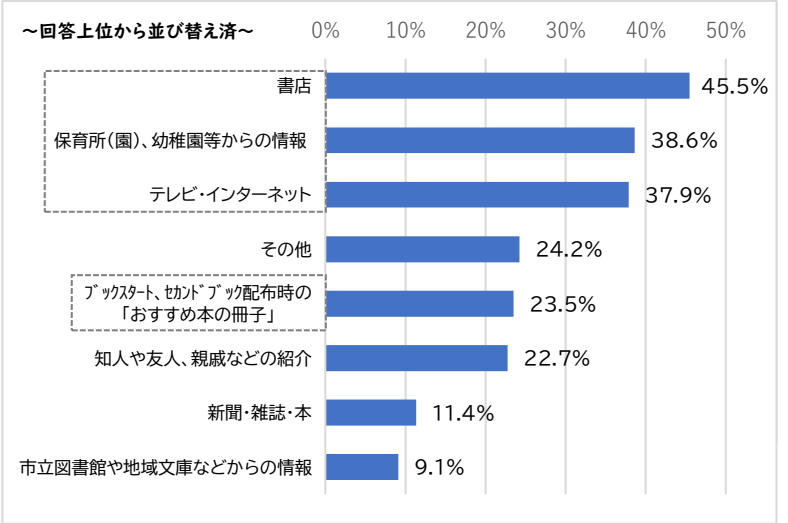
「読み聞かせに使う本の情報収集」

【問5】<【問2】で、1・2・3 と回答された方>
「読み聞かせ」の本を選ぶ際、「参考にしているもの」は何ですか。(複数回答)

	〈回答数〉	〈割合〉
1. テレビ・インターネット	50	37.9%
2. 新聞・雑誌・本	15	11.4%
3. 書店	60	45.5%
4. 知人や友人、親戚などの紹介	30	22.7%
5. 保育所(園)、幼稚園などからの情報	51	38.6%
6. ブックスタート、セカンドブック配布時の「おすすめ本の冊子」	31	23.5%
7. 市立図書館や地域文庫などからの情報	12	9.1%
8. その他	32	24.2%

n=132

- 【読み取れること、ポイント】
- 「書店(46%)」「保育所(園)、幼稚園(39%)」「テレビ・インターネット(38%)」が多く、保護者が様々な媒体から情報を得ていることがわかる。
 - これらに続く形となった「ブックスタート、セカンドブック配布時のおすすめ本の冊子(24%)」については、内容充実を含め更なる働きかけが必要である。
 - 「その他」では、「子どもが選んだもの」「親が好きだった本」が主であった。



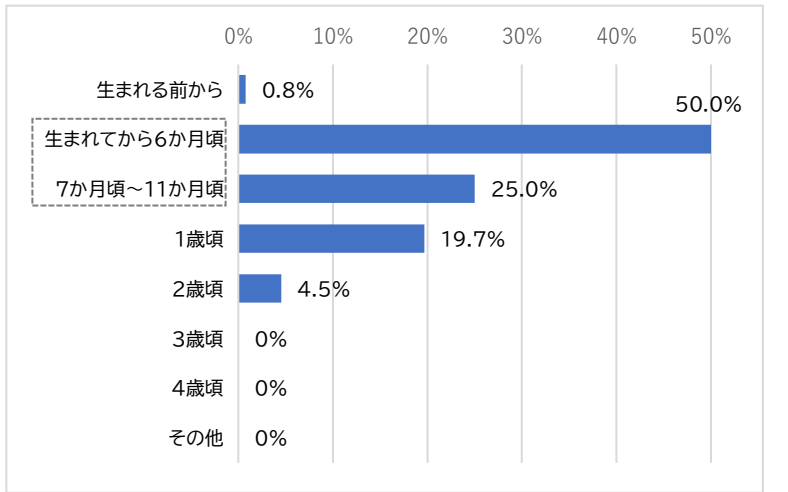
「読み聞かせを始めた時期」

【問6】<【問2】で、1・2・3 と回答された方>
お子さんへの「読み聞かせ」を「始めた時期」は、いつ頃ですか。

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 生まれる前から	1	0.8%
2. 生まれてから6か月頃	66	50.0%
3. 7か月頃～11か月頃	33	25.0%
4. 1歳頃	26	19.7%
5. 2歳頃	6	4.5%
6. 3歳頃	0	0%
7. 4歳頃	0	0%
8. その他	0	0%

n=132

- 【読み取れること、ポイント】
- 「生まれてから6か月頃(50%)」「7か月頃～11か月頃(25%)」が多く、「ブックスタート事業(対象/6か月児)」は、0歳児からの絵本の出会いの場として有効であると考えられる。



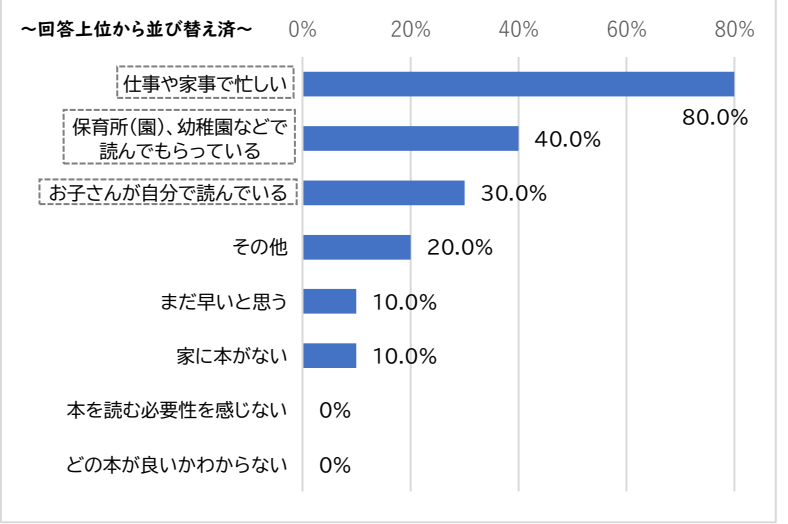
「読み聞かせをしていない理由」

【問7】<【問2】で、4・5 と回答された方>
「読み聞かせ」をしていない、できない「理由」があれば教えてください。(複数回答)

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 家に本がない	1	10.0%
2. 保育所(園)、幼稚園などで読んでもらっている	4	40.0%
3. 仕事や家事で忙しい	8	80.0%
4. どの本が良いかわからない	0	0.0%
5. まだ早いと思う	1	10.0%
6. 本を読む必要性を感じない	0	0.0%
7. お子さんが自分で読んでいる	3	30.0%
8. その他	2	20.0%

n=10

- 【読み取れること、ポイント】
- 「仕事や家事で忙しい(80%)」が最も多く、多忙な状況がうかがえる。
 - 「保育所(園)、幼稚園などで読んでもらっている(40%、4・5・6歳児が主)」では、集団読書とは異なる、『保護者が絵本を通じて乳幼児へ言葉かけをすることの重要性』を啓発していく必要がある。
 - 「お子さんが自分で読んでいる(30%、5・6歳児が主)」では、文字を追っているだけで、内容をつかめていない可能性があることを懸念する。



「市立図書館に行く頻度」

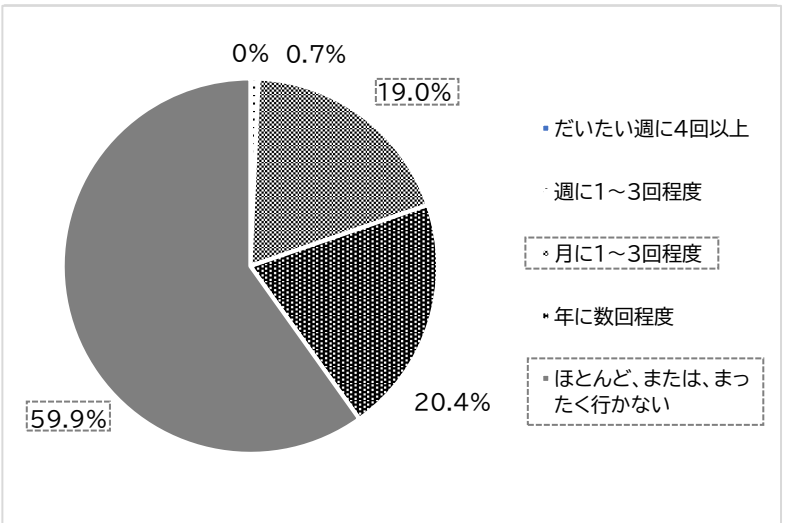
【問8】“お子さんのために”、市立図書館にどれくらい行きますか。

	〈回答数〉	〈割合〉
1. だいたい週に4回以上	0	0%
2. 週に1～3回程度	1	0.7%
3. 月に1～3回程度	27	19.0%
4. 年に数回程度	29	20.4%
5. ほとんど、または、まったく行かない	85	59.9%

n=142

- 【読み取れること、ポイント】
- 「ほとんど、または、まったく行かない」が6割と、図書館に行かない割合の方が行く人より多くなっているのが現状である。
 - 一方で、「月に1～3回程度(19%)」「週に1～3回程度」の定期利用も見られる。
 - 更なる利用を促すため、「図書資料の充実」はもとより、「来館のきっかけとなるイベント」の実施や「読書の素晴らしさや魅力」を発信し、「もっと本を読みたくなるような働きかけ」について、さらに検討を深めていく必要がある。

補足 <別途分析> 市立図書館に行く頻度が最も多いのは、3歳児(3割が「月に1～3回程度」)となっていることがわかった。



≪市立図書館を利用しない理由≫

【問9】 <【問8】で、5 と回答された方>

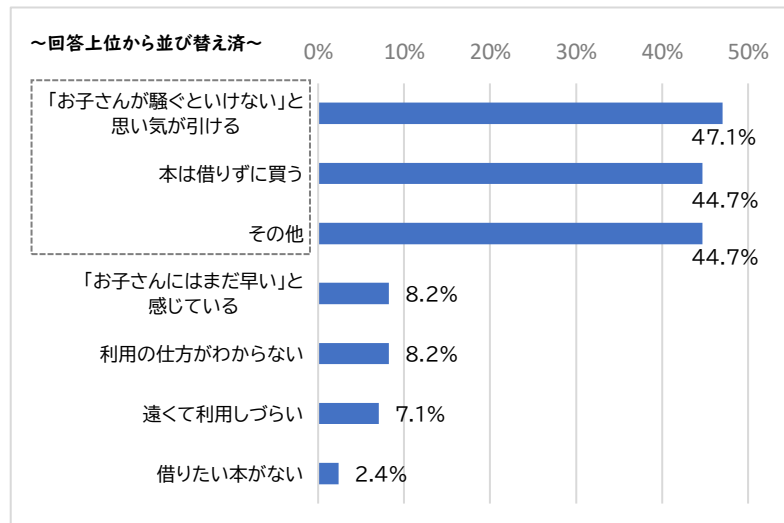
市立図書館を“利用しない理由”があれば教えてください。(複数回答)

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 本は借りずに買う	38	44.7%
2. 借りたい本がない	2	2.4%
3. 利用の仕方がわからない	7	8.2%
4. 遠くて利用しづらい	6	7.1%
5. 「お子さんが騒ぐといけなし」と思いが引ける	40	47.1%
6. 「お子さんにはまだ早い」と感じている	7	8.2%
7. その他	38	44.7%

n=85

【読み取れること、ポイント】

- 「お子さんが騒ぐといけなしと思いが引ける(47%)」が最も多く、次いで「本は借りずに買う(45%)」「その他(45%)」と続く。
- 「その他」では、回答上位から、「図書館に行く時間がないから」「借りた本を汚してしまいそうだから」「保育所等施設で借りているから」「コロナが気になるから」「他人が触れたものなので衛生的に不安だから」等があった。
- 「乳幼児連れの保護者が、気兼ねなく図書館を利用できるようにするためのしくみづくり(時間帯設定や場所の確保等)」の検討が必要である。



≪その他≫ 市立図書館に対して、“お気づきの点”や“ご意見”などがございましたら、ご自由にお書きください。

<項目>	<内容>	<対象児>	<読み聞かせ頻度>	<図書館利用頻度>
「図書資料の充実、配架の改善」関連	① 子どもが絵本を選ぶ際、表紙絵を見て決めるので、おすすめ本が本棚の上に飾ってあるので選びやすい。	3歳、小学生以上	週/2~3回	月/1~3回利用
	② 本好きの子どもなので、たくさん本が借りれて助かっています。年齢が上がっても「おすすめ本のコーナー」があると嬉しい。	3歳	ほぼ毎日	月/1~3回利用
	③ DVDの種類を増やしてほしい。	3歳	週/1回	月/1~3回利用
	④ 児童書が古い。本棚が見にくい。「小学校低学年におすすめの本」を紹介してほしい。	3歳、小学生以上	ほぼ毎日	利用していない
	⑤ 児童書の展示が「赤ちゃん用とそれ以上」となっており、小学1年生は少し選びにくい。タイトルの五十音順ではなく「ジャンル別」の方がわかりやすくてよい。	3歳、小学生以上	週/2~3回	年/数回利用
	⑥ 児童書の本が探しにくい。書店や保育園の方がわかりやすい。	5歳	ほぼ毎日	月/1~3回利用
「お話し会やイベントの充実」関連	① 「お話し会」の時間を増やしてほしい。	3歳	週/1回	月/1~3回利用
	② 「赤ちゃんお話し会」は、「和室(交流館和室、こがめルーム)」で実施してほしい。	1歳、3歳	ほぼ毎日	月/1~3回利用
	③ 「おすすめ本のコーナー」を楽しみに来館しています。4歳の娘はここから選んでいます。「ビブリアバトル本がますます好きになるような企画」があれば、ぜひ参加したい。	4歳、小学生以上	ほぼ毎日	月/1~3回利用
「施設環境の整備」関連	① いつも綺麗にされ気持ちよく過ごさせています。もう少し雰囲気が明るくても良いかなと思う。	4歳、小学生以上	週/1回	月/1~3回利用
	② 児童書の近くに低めのイスやソファがあると、子どもを座らせて本が選べて助かります。	2歳	週/2~3回	月/1~3回利用
	③ 「(借りた本をバックにしまう際に利用する)サッカー台」がもう1台あると助かります。	1歳、3歳	ほぼ毎日	月/1~3回利用
	④ コロナが気になるので「本の滅菌機」があると安心して借りれます。	4歳	週/1回	年/数回利用
	⑤ 子どもが騒ぎ周りに迷惑をかけるので遠慮してしまう。別室に「子どもエリア」があるとよい。	4歳	週/2~3回	利用していない
「サービス等の改善」関連	① コロナ禍ということもあり、「インターネットでの予約」や「宅配サービス」があるとよい。	2歳、5歳	ほぼ毎日	月/1~3回利用
	② 忙しく図書館に行けないので、「宅配サービス」があれば利用したい。	2歳	週/1回	利用していない
	③ 「予約できる本の冊数」をもっと増やしてほしい。	6歳	ほぼ毎日	週/1~3回利用
	④ 「読み聞かせの情報等」をまとめて、保育園等にもお知らせしてほしい。お話し会に参加してみたい。	3歳	週/1回	利用していない
	⑤ 利用したいと思うが、「利用者カードの作り方」「貸出し可能冊数や期間」がわからず行けていない。「乳幼児向け絵本の紹介やサービス内容のお知らせ」があれば行ってみようかと思う。	4歳、6歳	ほぼ毎日	利用していない
	⑥ 返却ポストが「JR古賀駅」「サンリブ古賀店」にあり、大変便利で助かります。	3歳、5歳	ほぼ毎日	月/1~3回利用
	⑦ 返却ポストを「JRししが駅」や「JR千鳥駅」にも設置してほしい。	6歳	週/2~3回	月/1~3回利用
	⑧ 子ども連れで本を選ぶのは結構大変なので、一度に3~6冊位がセットになった「本のおみくじの様なシステム」があればありがたい。	2歳児	ほぼ毎日	月/1~3回利用
	⑨ 「利用者カードをスマートフォンに表示」して利用できるようになれば便利。	1歳、4歳	週/2~3回	月/1~3回利用
	⑩ 「小学校や保育園への移動図書館」や、「利用ポイント制度」があれば良い。	3歳、5歳	週/2~3回	利用していない
その他	① ブックカートがあり、子ども連れでもまとめて本を借りれるので利用しやすい。	1歳、3歳	ほぼ毎日	月/1~3回利用
	② 0歳時からおはなし会に参加していました。今は保育園に行っているのですがなかなか参加できませんが、このようなイベントはありがたく今後も続けてほしい。	1歳	週/1回	月/1~3回利用
	③ 緊急事態宣言による休館以降、行かなくなってしまった。子どもには本を読んでもあげたいので、また図書館に通いたい。	3歳	週/1回	年/数回利用
	④ 緊急事態宣言による休館中、電子書籍も考えたが、子どもには紙ベースで見たいと思いつけず利用しなかった。	3歳、小学生以上	週/2~3回	月/1~3回利用
	⑤ コロナが気になってなかなか行けていませんが、子ども達は図書館が好きなのでまた利用させてもらいます。	4歳、5歳、小学生以上	月/1~2回	年/数回利用
	⑥ 私が学生の頃よく利用していたので、今度子ども達と行ってみたい。	2歳、6歳、小学生以上	週/2~3回	利用していない
	⑦ このアンケート調査を機会に利用したい。	4歳	週/2~3回	利用していない
	⑧ もう少し子どもの年齢が上がったら行ってみたい。	1歳	ほぼ毎日	利用していない
	⑨ (上の子が保育園児の時)図書館内で話し声が大きいことを何度か注意されたことを機に、親として穏やかな気持ちで利用できなくなった。本当は利用したいのですが…。	2歳	月/1~2回	利用していない
	⑩ 子どもは本は好きですが、借りた本を汚したり、破ったりしてしまいそうで心配です。	2歳	ほぼ毎日	利用していない
	⑪ 「保育所による図書館見学を願ひし、図書館は本を静かに読むところであることを教えてほしい。」	4歳	関心がない	利用していない

＜読書に関する意識＞

【問1】〈小学6年生〉

読書は好きですか。

	H28	R1(H31)
1. 好き	53.3%	41.9%
2. どちらかといえば好き	25.0%	32.2%
3. どちらかといえば好きではない	15.7%	15.5%
4. 好きではない	6.0%	10.4%

n=548 n=556

〔読み取れること、ポイント〕

- 読書が「好き」と回答した児童は、R1年度は42%で、「どちらかといえば好き(32%)」を合わせると74%が「好き」と回答。前回調査(78%)から減少している。
- 前回調査と比較すると、「好き」が減少(11ポイント)した一方で、「どちらかといえば好き」が増加(7ポイント)。「好きではない」が増加(4ポイント)している。

＜比較＞

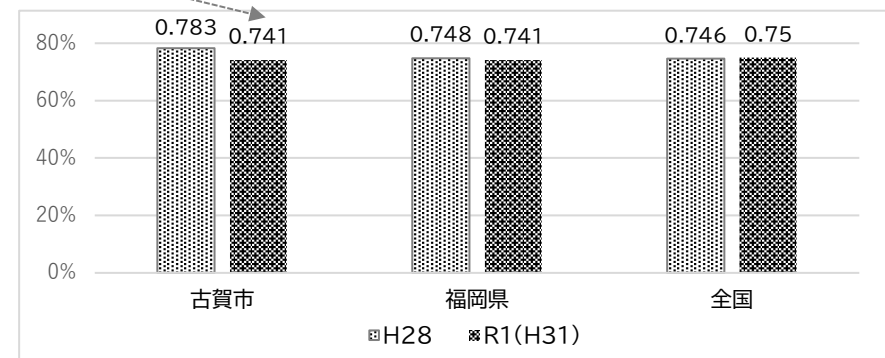
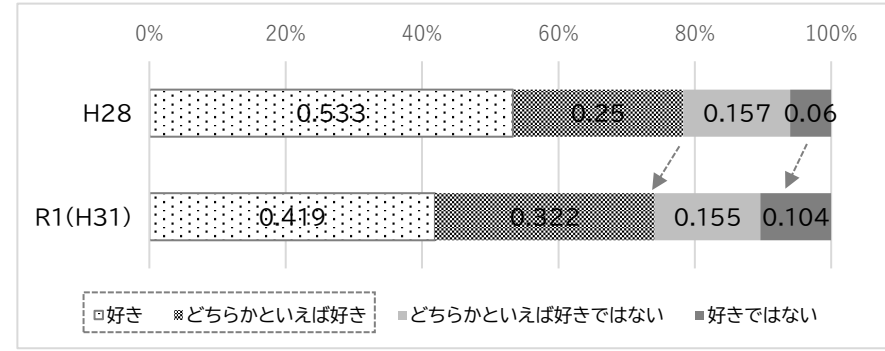
【問1】-① 〈小学6年生〉

読書が好きな割合 ～【問1】で、「好き」「どちらかといえば好き」と答えた割合～

	H28	R1(H31)
1. 古賀市	78.3%	74.1%
2. 福岡県	74.8%	74.1%
3. 全国	74.6%	75.0%

〔読み取れること、ポイント〕

- 古賀市では「読書が好きな割合」が減少(4ポイント)し、県及び全国平均とほぼ同水準となった。
- 県及び全国平均はほとんど変わらず、横ばい状態。



【問1】〈中学3年生〉

読書は好きですか。

	H28	R1(H31)
1. 好き	46.7%	43.7%
2. どちらかといえば好き	22.4%	32.0%
3. どちらかといえば好きではない	15.0%	17.3%
4. 好きではない	15.2%	7.0%
5. その他	0.7%	0%

n=580 n=503

〔読み取れること、ポイント〕

- 読書が「好き」と回答した児童は、R1年度は44%で、「どちらかといえば好き(32%)」を合わせると76%が「好き」と回答。前回調査(69%)から増加している。
- 前回調査と比較すると、「好き」が減少(3ポイント)した一方で、「どちらかといえば好き」が増加(10ポイント)。「好きではない」が減少(8ポイント)している。
- <<小学生との比較>> 「好き」「どちらかといえば好き」の割合は、小・中学生、ほぼ一致している。

＜比較＞

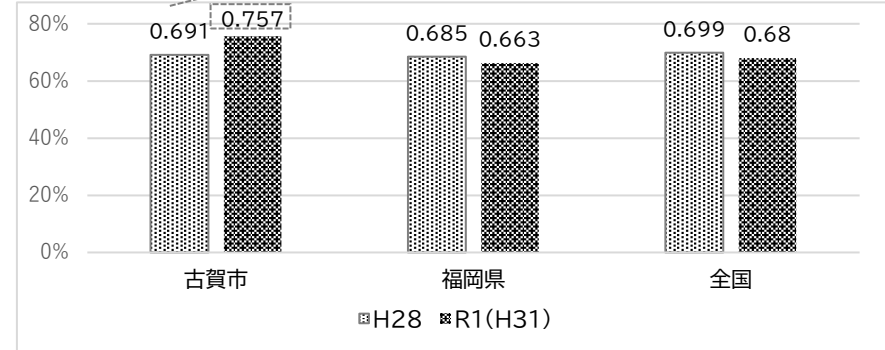
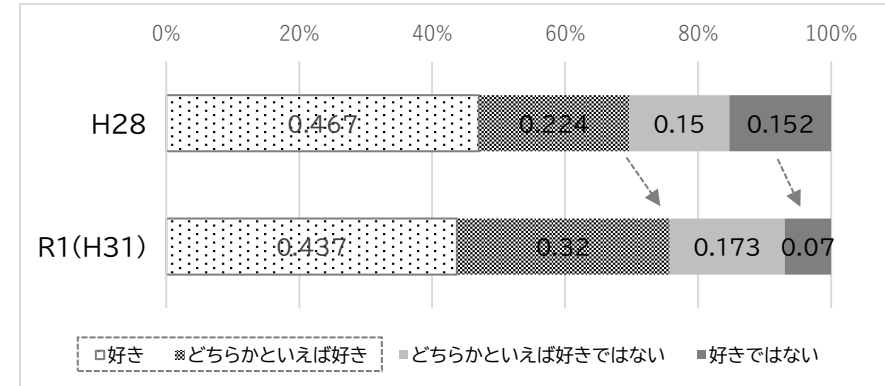
【問1】-① 〈中学3年生〉

読書が好きな割合 ～【問1】で、「好き」「どちらかといえば好き」と答えた割合～

	H28	R1(H31)
1. 古賀市	69.1%	75.7%
2. 福岡県	68.5%	66.3%
3. 全国	69.9%	68.0%

〔読み取れること、ポイント〕

- 古賀市では「読書が好きな割合」が増加(7ポイント)し、県及び全国平均を上回った。
- 県及び全国平均では、わずかながら減少している。



＜読書時間＞

【問2】〈小学6年生〉

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。

	H28	R1(H31)	R3
1. 2時間以上	7.1%	6.7%	6.1%
2. 1～2時間	10.8%	11.0%	7.7%
3. 30分～1時間	16.1%	16.5%	17.8%
4. 10～30分	26.8%	24.8%	25.2%
5. 10分未満	15.5%	15.8%	14.9%
6. 全くしない	23.7%	25.2%	28.1%
7. その他	0%	0%	0.2%

n=548 n=556 n=556

〔読み取れること、ポイント〕

- 「10～30分」が最も多く、次いで「30分～1時間」「10分未満」「1～2時間」「2時間以上」の順となっており、1日に短時間でも読書をする習慣がついている児童が7割を超えている。
- 一方で、「全く読書をしていない」割合は増加傾向にある。

＜比較＞

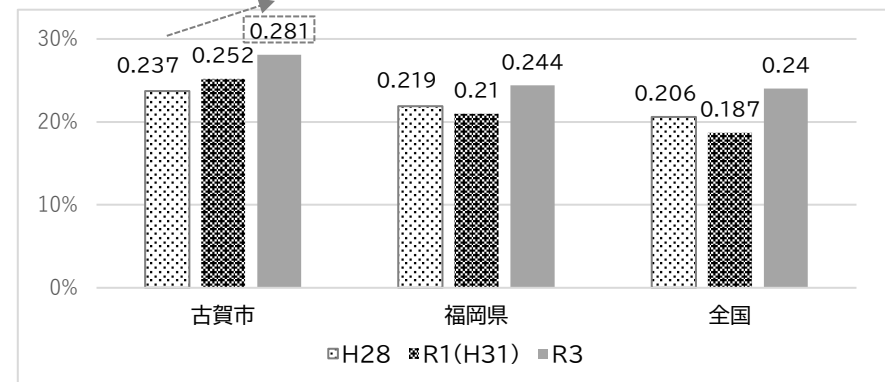
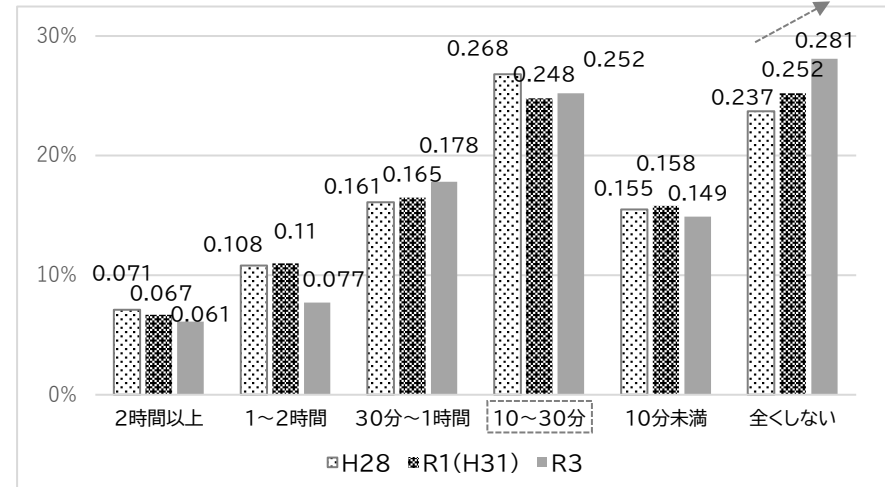
【問2】-① 〈小学6年生〉

全く読書をしていない割合(不読率)

	H28	R1(H31)	R3
1. 古賀市	23.7%	25.2%	28.1%
2. 福岡県	21.9%	21.0%	24.4%
3. 全国	20.6%	18.7%	24.0%

〔読み取れること、ポイント〕

- 古賀市の「全く読書をしていない」割合は、県及び全国平均を上回る状態が続いている。
- R1年度に減少していた県及び全国平均も、R3年度では増加に転じている。



【問2】〈中学3年生〉

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか。

	H28	R1(H31)	R3
1. 2時間以上	7.6%	4.2%	4.7%
2. 1～2時間	6.2%	7.6%	10.3%
3. 30分～1時間	16.7%	17.3%	13.7%
4. 10～30分	21.9%	28.4%	26.4%
5. 10分未満	11.4%	12.1%	10.3%
6. 全くしない	36.0%	30.4%	34.3%
7. その他	0.2%	0%	0.3%

〔読み取れること、ポイント〕

- 「10～30分」が最も多く、次いで「30分～1時間」「10分未満」「1～2時間」「2時間以上」の順となっており、1日に短時間でも読書をする習慣がついている生徒が6割を超えている。
- R1年度に減少していた「全く読書しない」が増加に転じている。
- 部活動や家庭学習(塾を含む)等の時間が増加し、読書時間の確保が難しい状況にあるものと推測される。

〈比較〉

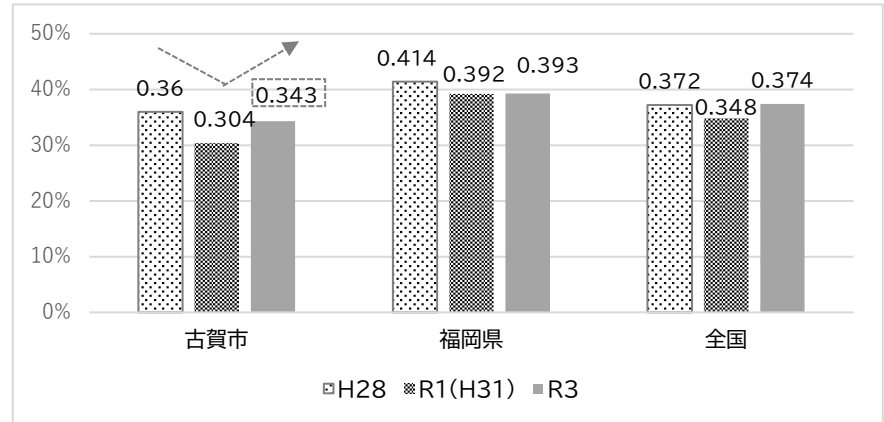
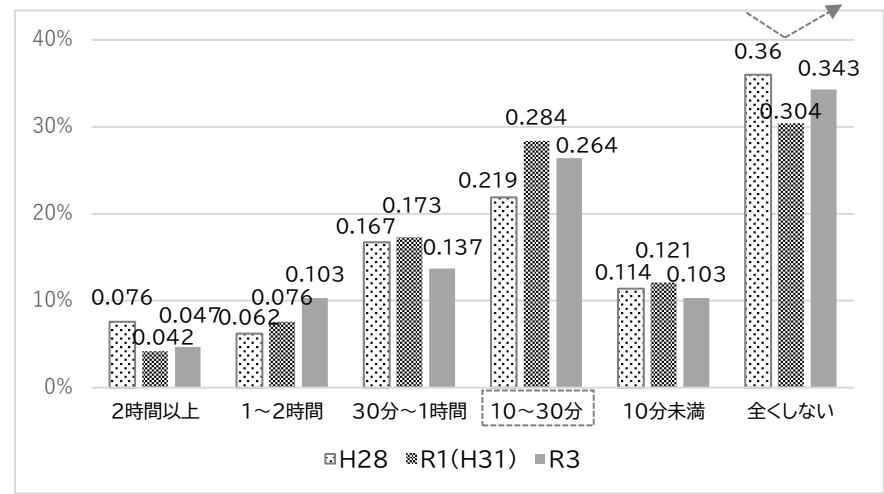
【問2】-① 〈中学3年生〉

全く読書しない割合(不読率)

	H28	R1(H31)	R3
1. 古賀市	36.0%	30.4%	34.3%
2. 福岡県	41.4%	39.2%	39.3%
3. 全国	37.2%	34.8%	37.4%

〔読み取れること、ポイント〕

- 古賀市の「全く読書しない」割合は、県及び全国平均をやや下回っており、また中学進学により読書から離れる割合も比較的に少ない。
- 古賀市、県及び全国平均、何れもR1年度は減少していたが、R3年度では増加に転じている。
- 〈小学生との比較〉 不読率は、小学生の28%より、中学生は34%と高くなっている。



〈図書館の利用状況〉

【問3】〈小学6年生〉

昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか。

	H28	R1(H31)
1. 週に4回以上	2.9%	4.0%
2. 週に1～3回程度	17.3%	14.6%
3. 月に1～3回程度	23.5%	25.7%
4. 年に数回程度	27.4%	27.7%
5. ほとんど行かない	28.6%	27.9%
6. その他	0.3%	0.1%

〔読み取れること、ポイント〕

- 7割を超える児童が定期的に図書館に通っており、この内、「週に1～3回」が減少したが、「週に4回以上」と「月に1～3回」が微増となった。
- 「ほとんど行かない」が28%と最も多いが、わずかながら減少している。

〈比較〉

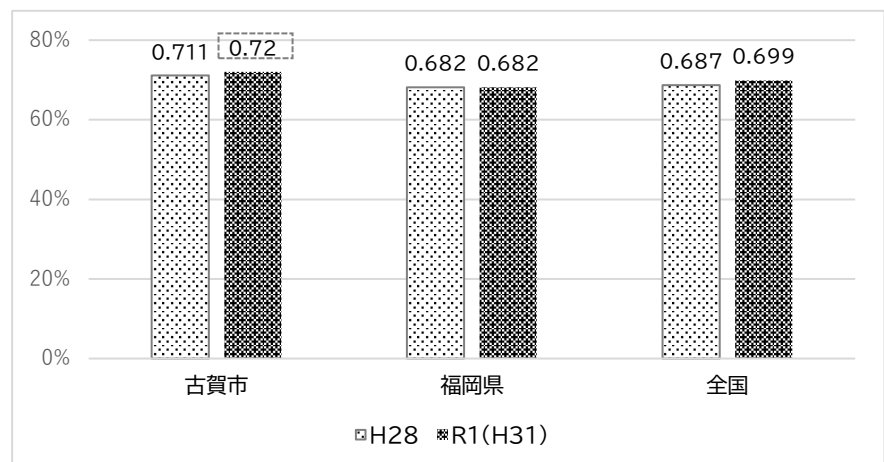
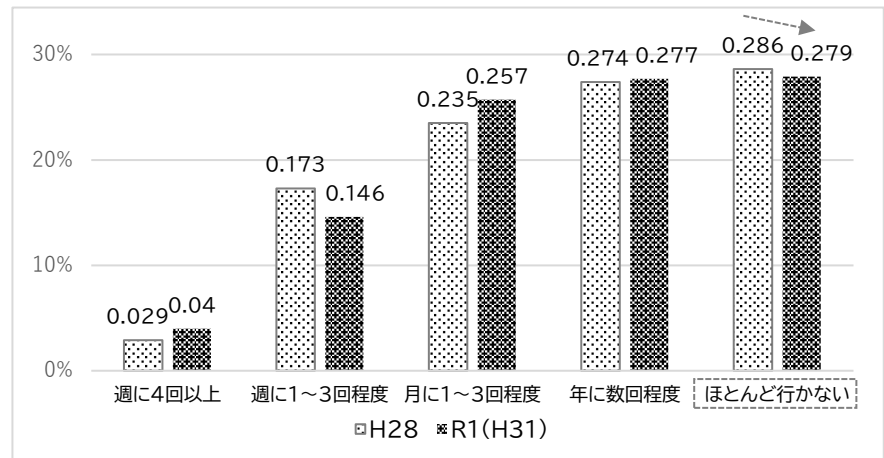
【問3】-① 〈小学6年生〉

図書館に行く割合

	H28	R1(H31)
1. 古賀市	71.1%	72.0%
2. 福岡県	68.2%	68.2%
3. 全国	68.7%	69.9%

〔読み取れること、ポイント〕

- 古賀市の図書館に通う割合は、県及び全国平均を上回っている。
- この割合は、古賀市、県及び全国平均ともに3年間でほぼ変わらない。



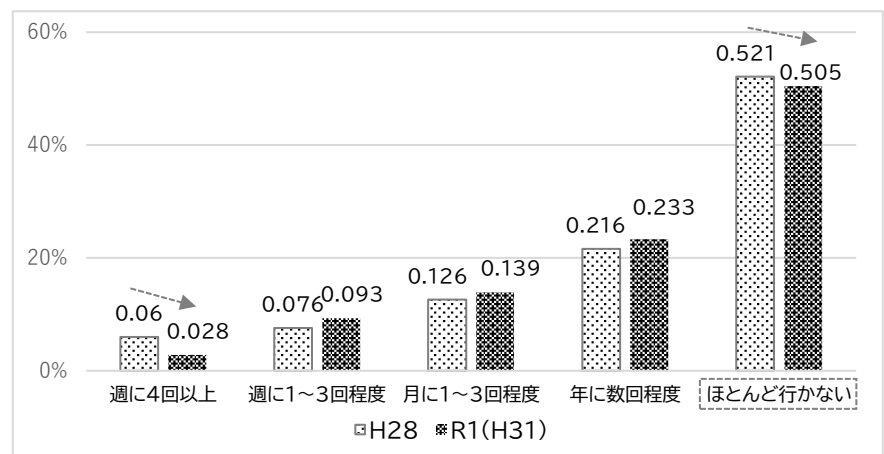
【問3】〈中学3年生〉

昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか。

	H28	R1(H31)
1. 週に4回以上	6.0%	2.8%
2. 週に1～3回程度	7.6%	9.3%
3. 月に1～3回程度	12.6%	13.9%
4. 年に数回程度	21.6%	23.3%
5. ほとんど行かない	52.1%	50.5%
6. その他	0.1%	0.2%

〔読み取れること、ポイント〕

- 生徒のほぼ半数が定期的に図書館に通っており、この内、「週に4回以上」が減少した一方で、他が微増した。
- 「ほとんど行かない」が51%と最も多いが、減少している。



「比較」

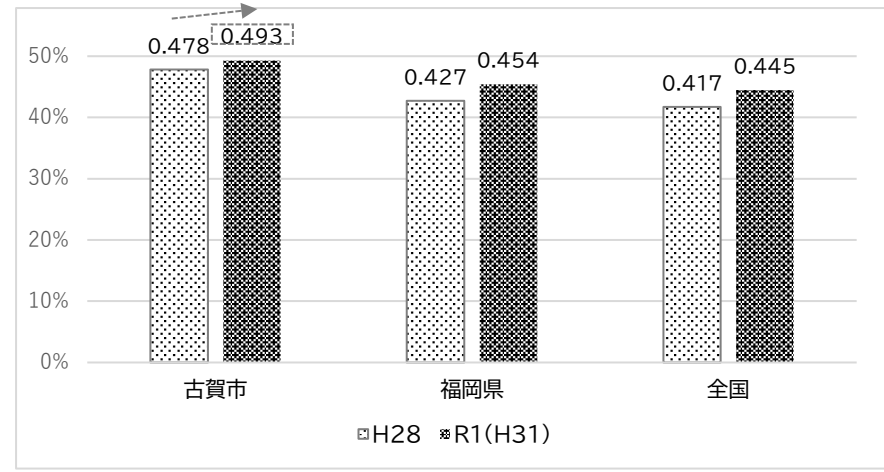
【問3】-① 〈中学3年生〉

図書館に行く割合

	H28	R1(H31)
1. 古賀市	47.8%	49.3%
2. 福岡県	42.7%	45.4%
3. 全国	41.7%	44.5%

【読み取れること、ポイント】

- 古賀市の図書館に通う割合は、県及び全国平均を上回っている。
- 古賀市、県及び全国平均、何れも図書館に行く割合が増加している。
- 「小学生との比較」 図書館に行く割合は、中学生(ほぼ5割)が小学生(7割超)より低くなっている。



「(参考) ゲームの時間」

【問4】〈小学6年生〉

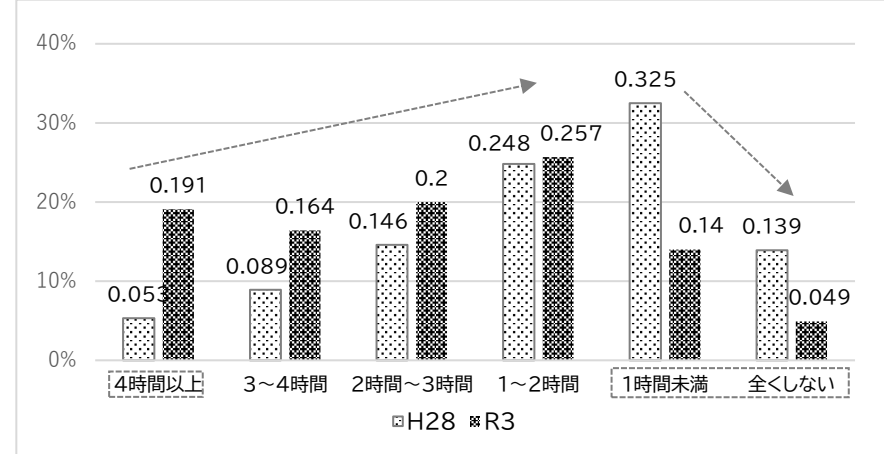
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、ゲームをしますか。

	H28	R3
1. 4時間以上	5.3%	19.1%
2. 3～4時間	8.9%	16.4%
3. 2時間～3時間	14.6%	20.0%
4. 1～2時間	24.8%	25.7%
5. 1時間未満	32.5%	14.0%
6. 全くしない	13.9%	4.9%

n=548 n=556

【読み取れること、ポイント】

- インターネット、スマートフォン等の普及により、ゲームをする時間が大幅に増えている。
- 特に「1時間未満(19ポイント減)」「全くしない(9ポイント減)」が大幅に減少。一方で「4時間以上(14ポイント増)」「3～4時間」「2～3時間」「1～2時間」の順に増



「比較」

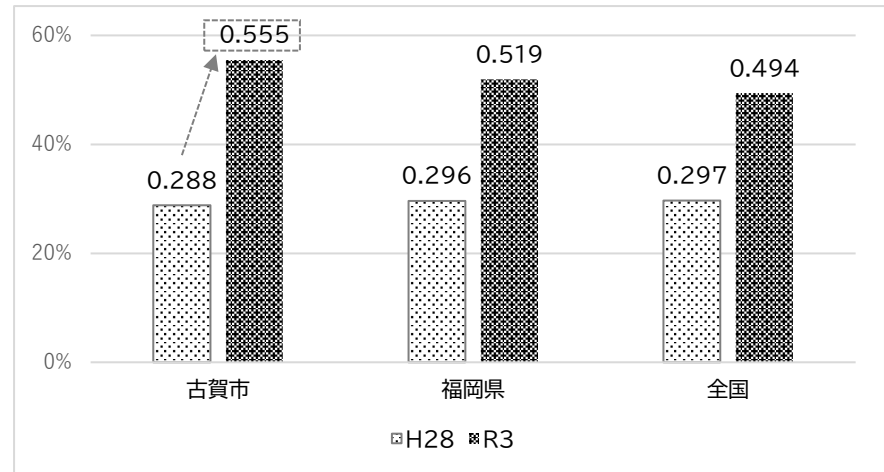
【問4】-① 〈小学6年生〉

普段(月～金曜日)、1日当たり長時間(2時間以上)ゲームをする割合

	H28	R3
1. 古賀市	28.8%	55.5%
2. 福岡県	29.6%	51.9%
3. 全国	29.7%	49.4%

【読み取れること、ポイント】

- 古賀市では、「2時間以上ゲームをする」割合が大きく増え(27ポイント)、県及び全国平均を上回っている。



【問4】〈中学3年生〉

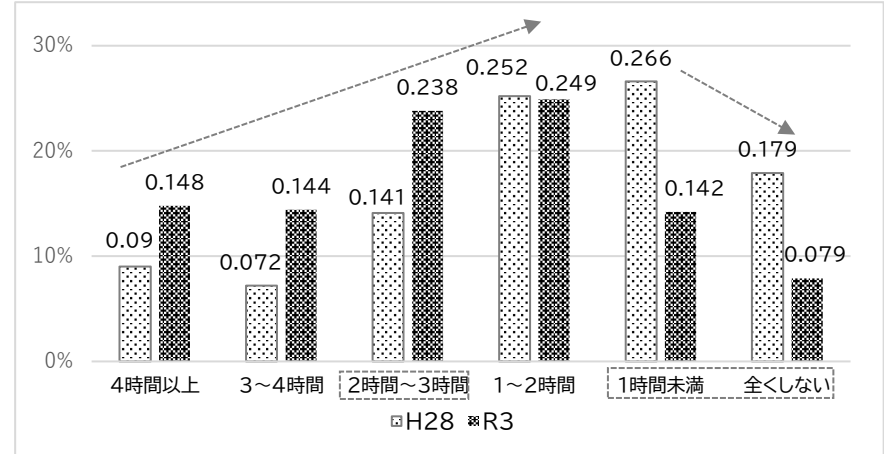
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、ゲームをしますか。

	H28	R3
1. 4時間以上	9.0%	14.8%
2. 3～4時間	7.2%	14.4%
3. 2時間～3時間	14.1%	23.8%
4. 1～2時間	25.2%	24.9%
5. 1時間未満	26.6%	14.2%
6. 全くしない	17.9%	7.9%

n=580 n=466

【読み取れること、ポイント】

- インターネット、スマートフォン等の普及により、ゲームをする時間が小学生と同様、大幅に増えている。
- 特に「1時間未満(12ポイント減)」「全くしない(10ポイント減)」が大幅に減少。一方で「2～3時間(10ポイント増)」「3～4時間」「4時間以上」「1～2時間」の順に増加。
- 「小中学生を通して」小中学生ともに、「1時間未満」「全くしない」が大幅に減少し、「2時間以上」が大幅に増加している。



「比較」

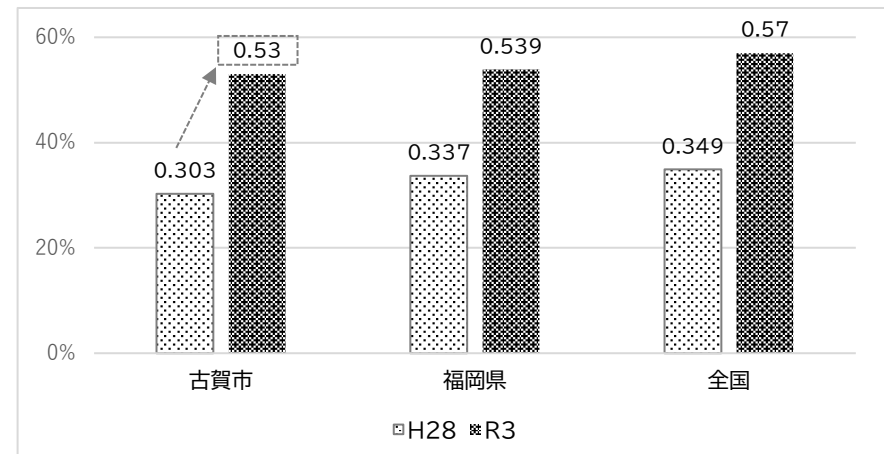
【問4】-① 〈中学3年生〉

普段(月～金曜日)、1日当たり長時間(2時間以上)ゲームをする割合

	H28	R3
1. 古賀市	30.3%	53.0%
2. 福岡県	33.7%	53.9%
3. 全国	34.9%	57.0%

【読み取れること、ポイント】

- 古賀市では、「2時間以上ゲームをする」割合が大きく増えたが(23ポイント)、県及び全国平均よりはやや下回っている。
- 「小中学生全体を通して」ゲームやインターネットなどをする時間をコントロールしながら、望ましい生活習慣を作り、読書の時間を確保していく働きかけが重要と考える。



■各校の「学校図書館要覧」／調〔概況〕【対象】小学生、中学生

◀図書館の利用状況▶

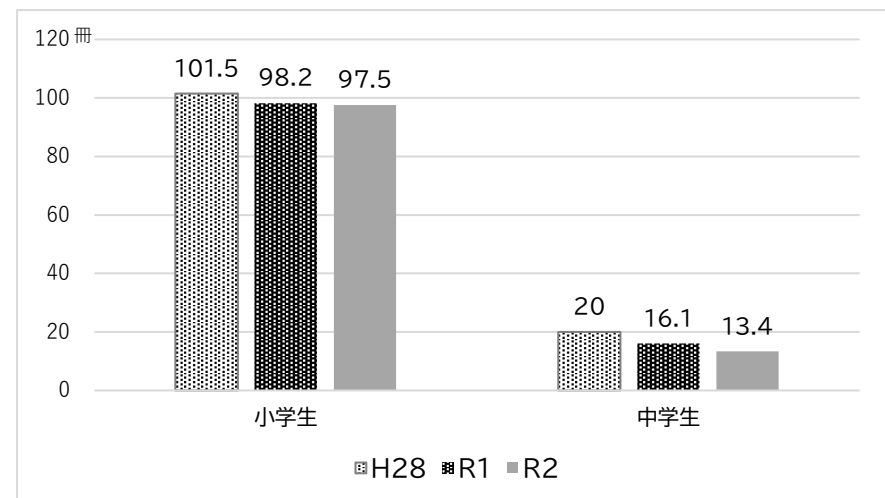
■ 児童生徒1人当たりの年間貸出冊数

	(冊/年)		
	H28	R1	R2
1. 小学生	101.5	98.2	97.5
2. 中学生	20.0	16.1	13.4

注:新型コロナウイルスの影響により臨時休校
(R1年度:R2.3月の約30日間、R2年度:4~5月の約50日間)

〔読み取れること、ポイント〕

- 小学生は「年間読書目標」の設定もあって、年間で「100冊」程度、中学生は「20冊弱」程度を貸出している状況。
- R1年度、R2年度共に臨時休校期間があったものの、これ以前と比べて貸出冊数が大幅に減少することはなかった。



子ども読書活動等に関するアンケート調査結果【概況】 【対象】高校生

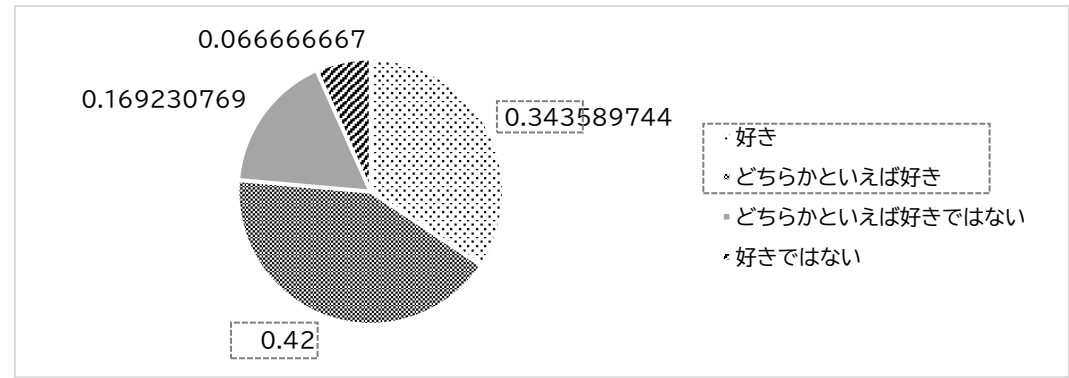
〈対象数〉209人 〈回答数〉195人 ※回収率 93.3%

※「複数回答とした設問(【問2・3・9】)」では、設問に対する回答者数を分母として選択肢毎の割合を算出した。(回答比率の合計が100%を上回る場合あり)

「読書に対する意識」

【問1】読書は好きですか。

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 好き	67	34.4%
2. どちらかといえば好き	82	42.0%
3. どちらかといえば好きではない	33	16.9%
4. 好きではない	13	6.7%

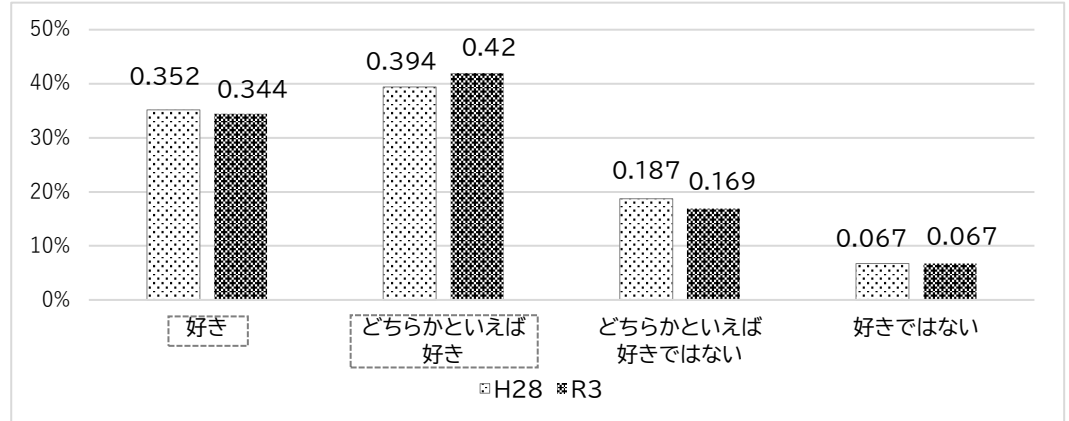


【読み取れること、ポイント】

- 読書が「好き」と回答した生徒は全体の34%で、「どちらかといえば好き(42%)」を合わせると、**76%が「好き」と回答。**

「比較」前回調査(H28)との比較

	H28	R3
1. 好き	35.2%	34.4%
2. どちらかといえば好き	39.4%	42.0%
3. どちらかといえば好きではない	18.7%	16.9%
4. 好きではない	6.7%	6.7%



【読み取れること、ポイント】

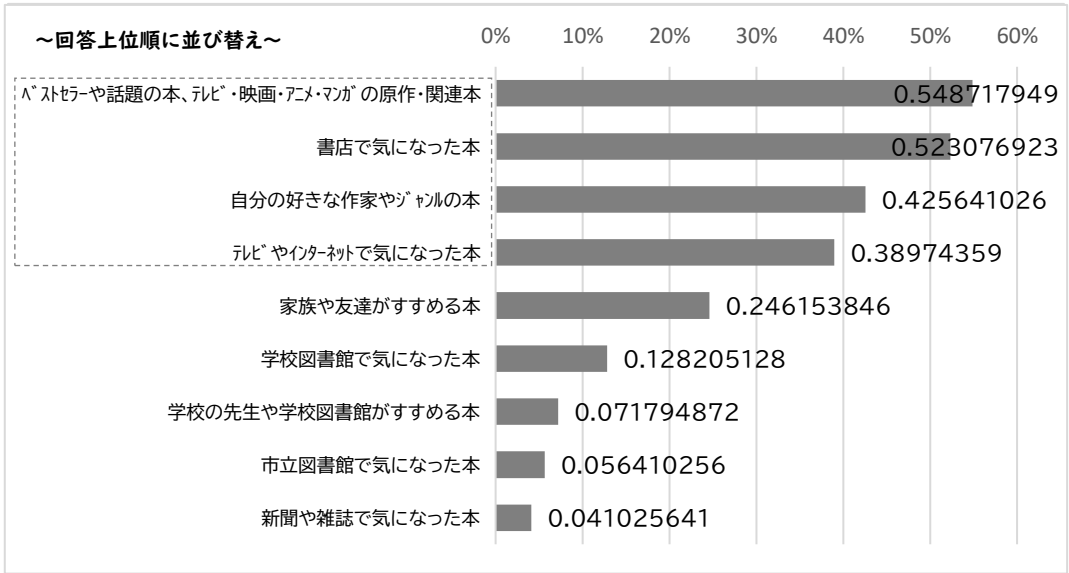
- 読書が「好き」「どちらかといえば好き」と回答した割合(76%)は、**前回調査(75%)とほぼ変わらない。**

※ここからは「紙の本(マンガや雑誌、新聞、教科書や参考書は除く)」による「読書」についてお聞きします。

「本の選び方」

【問2】“どのような本”を読んでいますか。(複数回答)

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 書店で気になった本	102	52.3%
2. テレビやインターネットで気になった本	76	39.0%
3. 新聞や雑誌で気になった本	8	4.1%
4. 市立図書館で気になった本	11	5.6%
5. 学校図書館で気になった本	25	12.8%
6. アニメや話題の本、テレビ・映画・アニメ・マンガの原作・関連本	107	54.9%
7. 自分の好きな作家やジャンルの本	83	42.6%
8. 家族や友達がすすめる本	48	24.6%
9. 学校の先生や学校図書館がすすめる本	14	7.2%



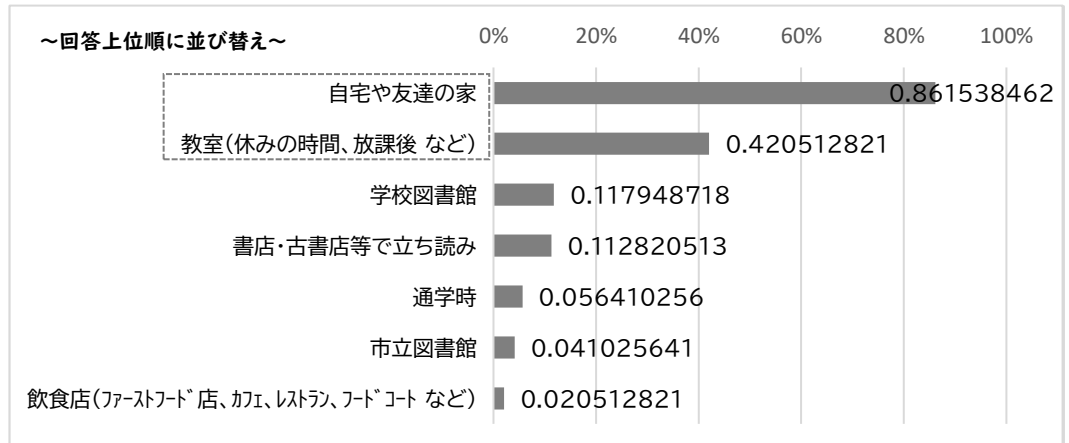
【読み取れること、ポイント】

- 「アニメや話題の本、テレビ・映画・アニメ・マンガの原作・関連本」「自分の好きな作家やジャンルの本」「テレビやインターネットで気になった本」が多く、**学校や図書館以外の場で情報収集している様子**がうかがえる。
- また「書店で気になった本」も多く、実際に書店に足を運んでいる様子もうかがえる。

「本を読む場所」

【問3】“どのような場所”で本を読みますか。(複数回答)

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 自宅や友達の家	168	86.2%
2. 市立図書館	8	4.1%
3. 学校図書館	23	11.8%
4. 教室(休みの時間、放課後 など)	82	42.1%
5. 通学時	11	5.6%
6. 飲食店(ファーストフード店、カフェ、レストラン、フードコート など)	4	2.1%
7. 書店・古書店等で立ち読み	22	11.3%



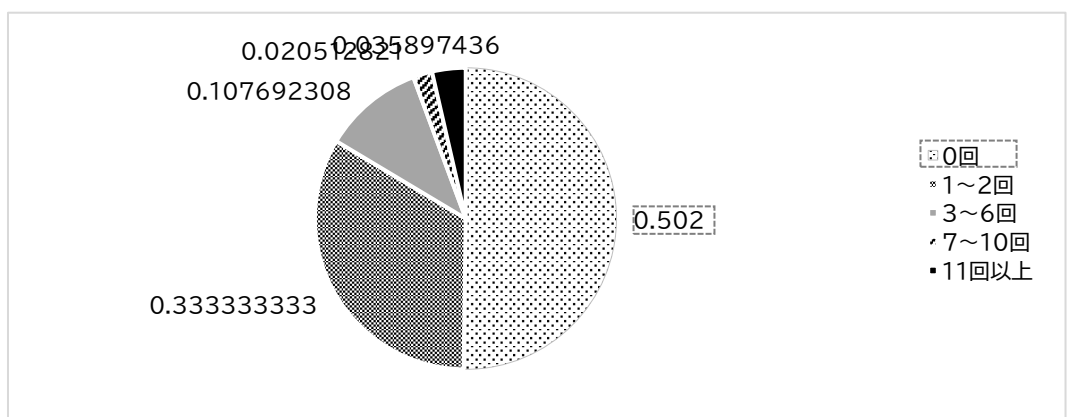
【読み取れること、ポイント】

- 「自宅や友達の家」が86%と最も多く、次いで「教室」が42%となっており、「図書館」等で読む割合より多くなっている。

「学校図書館の利用状況」

【問4】“先月(令和3年10月)、1か月の間”に、“学校の図書館”に何回行きましたか。

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 0回	98	50.2%
2. 1~2回	65	33.3%
3. 3~6回	21	10.8%
4. 7~10回	4	2.1%
5. 11回以上	7	3.6%

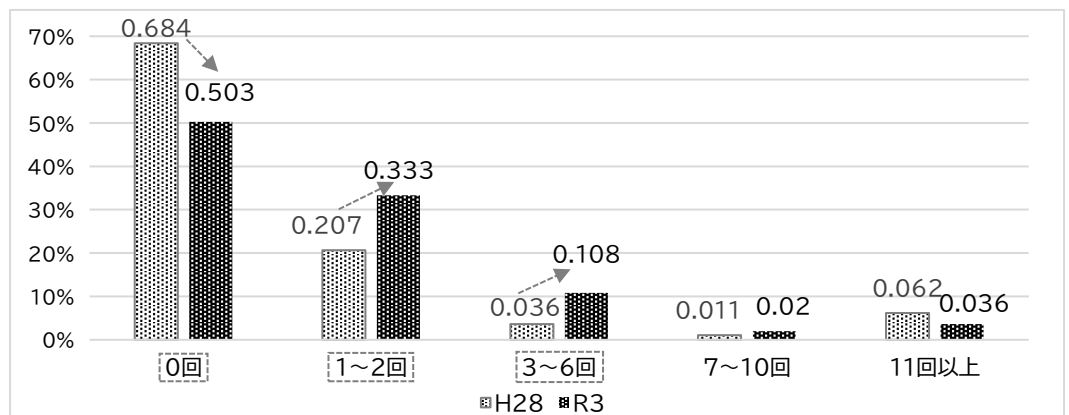


【読み取れること、ポイント】

- 「0回(学校図書館を利用していない)」が半数、次いで月に「1~2回(33%)」「3~6回(11%)」と続く。

「比較」前回調査(H28)との比較

	H28	R3
1. 0回	68.4%	50.3%
2. 1~2回	20.7%	33.3%
3. 3~6回	3.6%	10.8%
4. 7~10回	1.1%	2.0%
5. 11回以上	6.2%	3.6%



【読み取れること、ポイント】

- 前回調査と比べ、「0回」が大幅に減少(18ポイント)し、月に「1~2回(13ポイント増)」「3~6回(7ポイント増)」となったことから、**学校図書館に定期的に通う生徒が増えている。**

≪読書冊数≫

【問5】先月、1か月の間に、本を“何冊”読みましたか。
※同じ本を2回読んだ場合は、2冊と数えてください

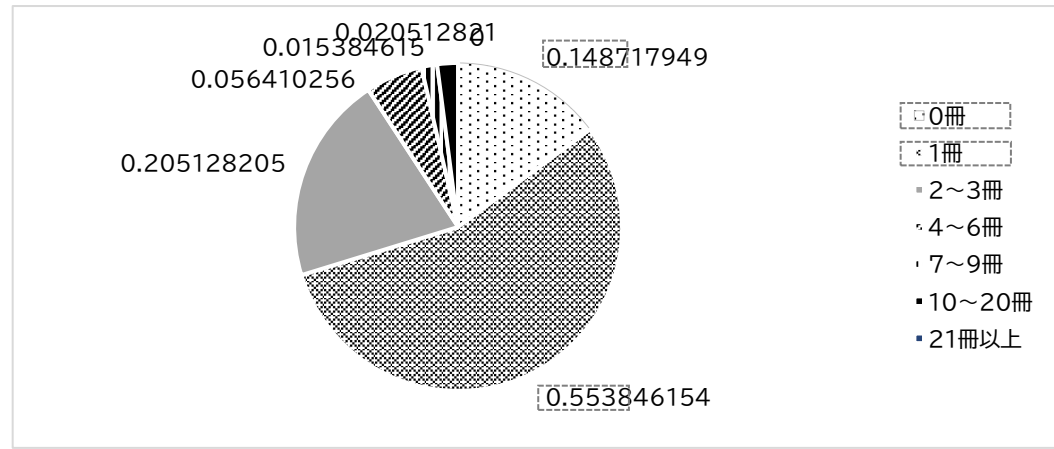
	〈回答数〉	〈割合〉
1. 0冊	29	14.9%
2. 1冊	108	55.4%
3. 2～3冊	40	20.5%
4. 4～6冊	11	5.6%
5. 7～9冊	3	1.5%
6. 10～20冊	4	2.1%
7. 21冊以上	0	0%

n=195

【読み取れること、ポイント】

- 8割を超える生徒が本を読み、この内『1冊』が56%と最も多く、次いで『2～3冊(21%)』『4～6冊(6%)』と続いている。『0冊(読まなかった)』は15%となっている。

補足 ≪別途分析≫【問1】で「読書が好きではない、どちらかといえば好きではない」と回答した生徒の67%が「1冊以上」の本を読んでいることがわかった。



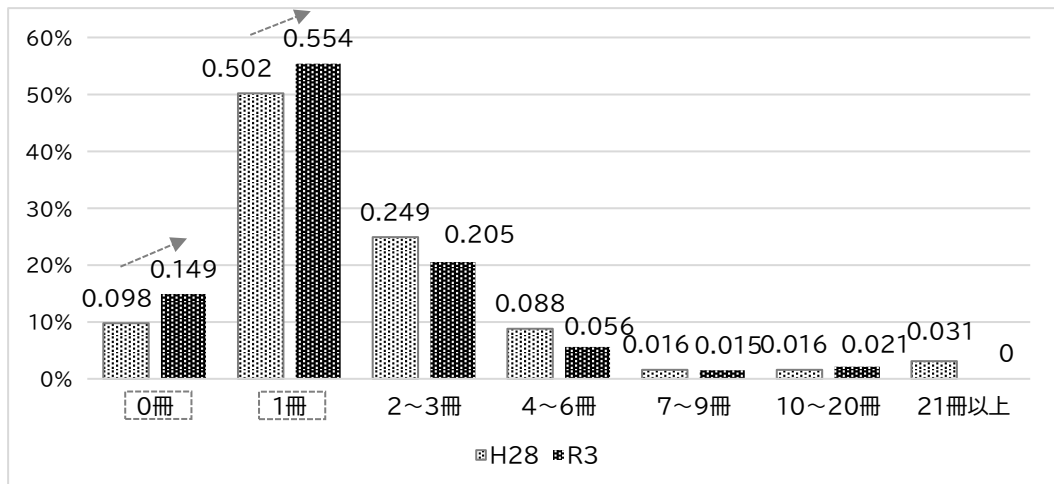
≪比較≫前回調査(H28)との比較

	H28	R3
1. 0冊	9.8%	14.9%
2. 1冊	50.2%	55.4%
3. 2～3冊	24.9%	20.5%
4. 4～6冊	8.8%	5.6%
5. 7～9冊	1.6%	1.5%
6. 10～20冊	1.6%	2.1%
7. 21冊以上	3.1%	0.0%

n=193 n=195

【読み取れること、ポイント】

- 前回調査と比べ、『0冊(読まなかった)』が増加(5ポイント)、『1冊』が増加(5ポイント)した一方で、『2～3冊』『4～6冊』『21冊以上』はそれぞれ減少している。



≪幼少期からの読書量の変化≫

【問6】これまでを振り返って、「小学校に入学する前」「小学1～3年生」「小学4～6年生」「中学生」それぞれ時期に、“どれくらいの本”を読みましたか。

	〈回答数〉			
	1. よく読んだ	2. わりと読んだ	3. あまり読まなかった	4. ほとんど読まなかった
① 小学校に入学する前	33	53	56	53
② 小学1～3年生	49	59	48	39
③ 小学4～6年生	51	67	48	29
④ 中学生	39	54	67	35

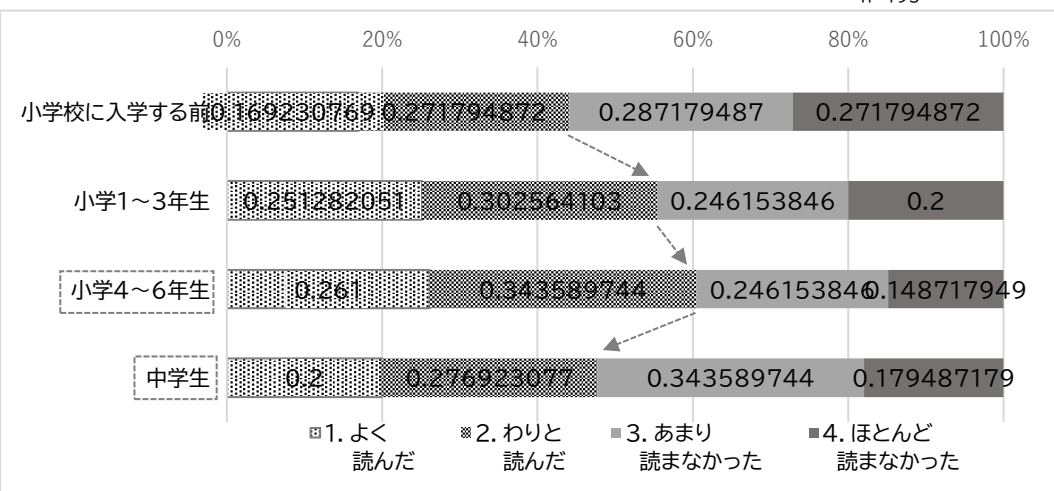
〈割合〉			
1. よく読んだ	2. わりと読んだ	3. あまり読まなかった	4. ほとんど読まなかった
16.9%	27.2%	28.7%	27.2%
25.1%	30.3%	24.6%	20.0%
26.1%	34.4%	24.6%	14.9%
20.0%	27.7%	34.4%	17.9%

n=195

【読み取れること、ポイント】

～「高校生自身の主観、振り返りに基づく回答」であることに留意～

- 「よく読んだ」「わりと読んだ」が最も多いのは、「小学4～6年生の時(61%)」となっている。
- 「よく読んだ」「わりと読んだ」を合わせた読書量は、小学校高学年まで増加するが、中学生になると減少してしまうことがわかる。
- 中学生になると、部活動や家庭学習(塾を含む)等の時間が増加し、読書時間の確保が難しい状況にあるものと推測される。



≪高校生になってからの読書量の変化≫

【問7】「中学生の時」と比べて、高校生になって“本を読む時間や本の量”は変わりましたか。

	〈回答数〉		
	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
① 1日当たりで本を読む時間	28	101	66
② 1か月に読む本の量	36	97	62

〈割合〉		
1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
14.4%	51.8%	33.8%
18.5%	49.7%	31.8%

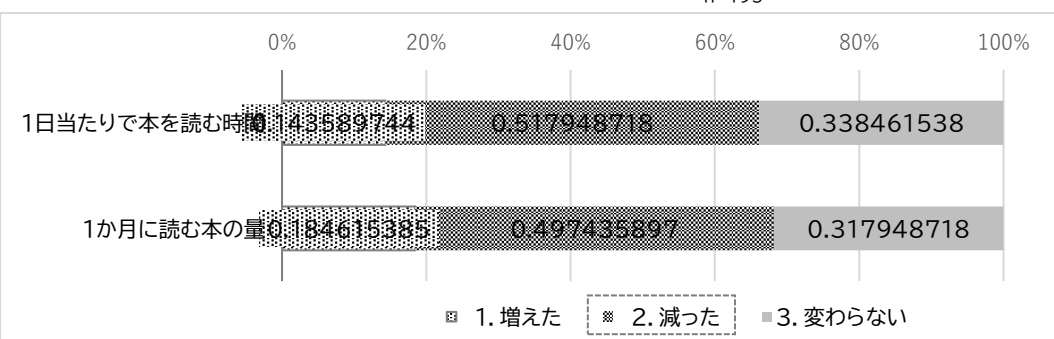
n=195

【読み取れること、ポイント】

～「高校生自身の主観、振り返りに基づく回答」であることに留意～

- 中学生の時と比べて高校生になってからの読書量は、「読む時間」「本の量」ともに「減った」との回答がほぼ半数となっている。
- 一方で、「増えた」と回答した生徒が2割近くいることがわかる。

補足 ≪別途分析≫「増えた」と回答した生徒のほとんどは、「自宅や友人の家」「教室」で読書をし、この内68%は、これとは別に「電子書籍も読んでいる」ことがわかった。



≪読書時間≫

【問8】先月、1か月の間に、「平日(学校の授業時間以外)」、「1日当たりどれくらいの時間」本を読みましたか。

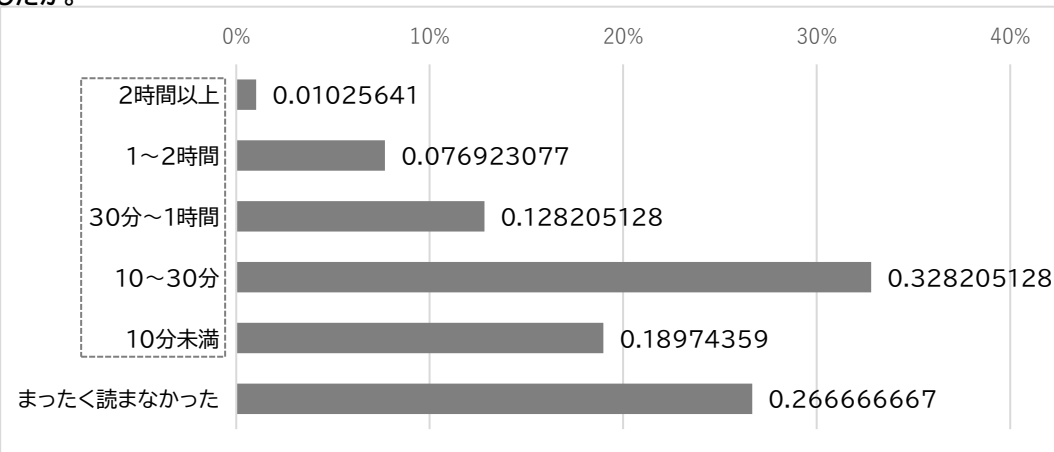
	〈回答数〉	〈割合〉
1. 2時間以上	2	1.0%
2. 1～2時間	15	7.7%
3. 30分～1時間	25	12.8%
4. 10～30分	64	32.8%
5. 10分未満	37	19.0%
6. まったく読まなかった	52	26.7%

n=195

【読み取れること、ポイント】

- 読書時間は「10～30分」が33%と最も多く、次いで「10分未満」「30分～1時間」「1～2時間」と続いている。「まったく読まなかった」は、27%となっている。

補足 ≪別途分析≫「短時間(30分未満)の読書をしている生徒」が本を読む場所は、「自宅・友人の家」が8割強、「教室」が4割強となっており、(勉強や部活動等で多忙な中、まとまった時間は取れなくても)空き時間を見つけて読書に動いている様子が見える。



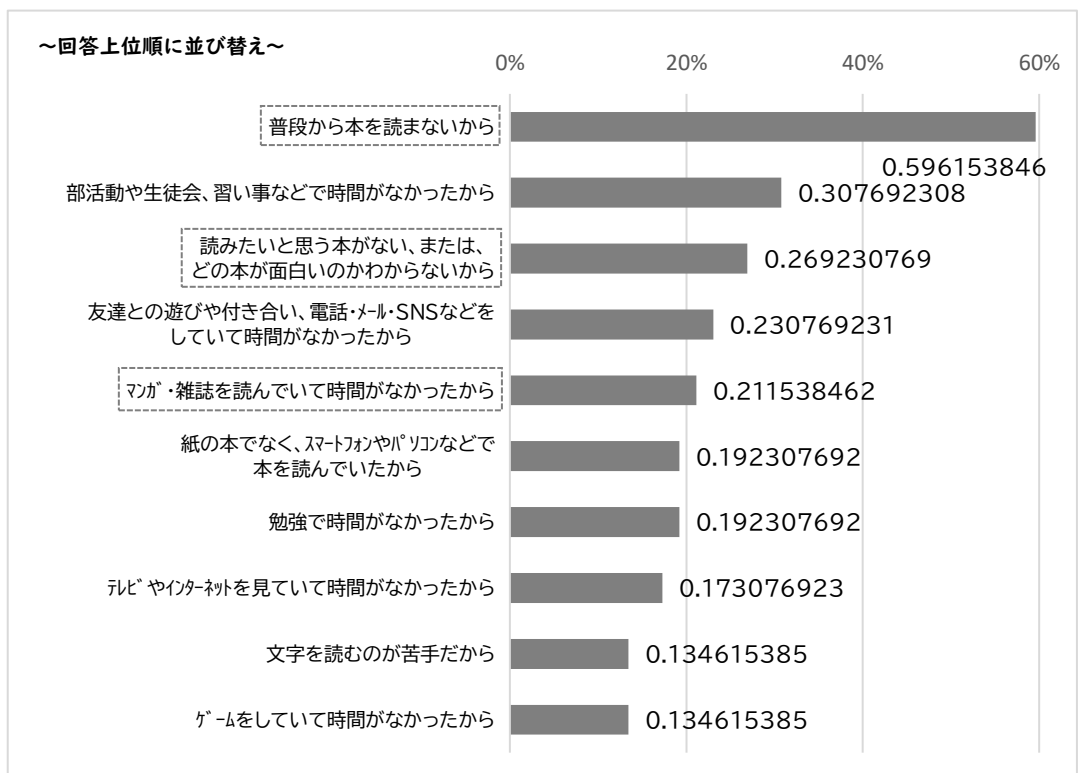
「本を読まなかった理由」

【問9】 <【問8】で「6. まったく読まなかった」と回答した方のみ>
 “本を読まなかった理由”があれば教えてください。(複数回答)

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 勉強で時間がなかったから	10	19.2%
2. 部活動や生徒会、習い事などで時間がなかったから	16	30.8%
3. 友達との遊びや付き合い、電話・メール・SNSなどをしていて時間がなかったから	12	23.1%
4. テレビやインターネットを見ていて時間がなかったから	9	17.3%
5. ゲームをしていて時間がなかったから	7	13.5%
6. マンガ・雑誌を読んでいて時間がなかったから	11	21.2%
7. 紙の本でなく、スマートフォンやパソコンなどで本を読んでいたから	10	19.2%
8. 読みたいと思う本がない、または、どの本が面白いかわからないから	14	26.9%
9. 文字を読むのが苦手だから	7	13.5%
10. 普段から本を読まないから	31	59.6%

【読み取れること、ポイント】

- 本を読まなかった理由で最も多いのは、「普段から本を読まないから(60%)」であり、本を読む習慣が身につけていない生徒が多い。
- 「読みたいと思う本がない、どの本が面白いかわからないから(27%)」また「マンガ・雑誌を読んでいたから(21%)」との回答が多く、興味関心に合う本が身近にないことを理由に、本を読まない生徒が多い。



※次に「電子書籍(マンガや雑誌、新聞、参考書等を含む)」による「読書」についてお聞きします。

「電子書籍の利用状況(読んだ点数)」

【問10】先月、1か月の間に、「電子書籍」を「何点」読みましたか。

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 0点	78	40.0%
2. 1点	21	10.8%
3. 2～3点	44	22.6%
4. 4～6点	20	10.2%
5. 7～9点	11	5.6%
6. 10～20点	13	6.7%
7. 21点以上	8	4.1%

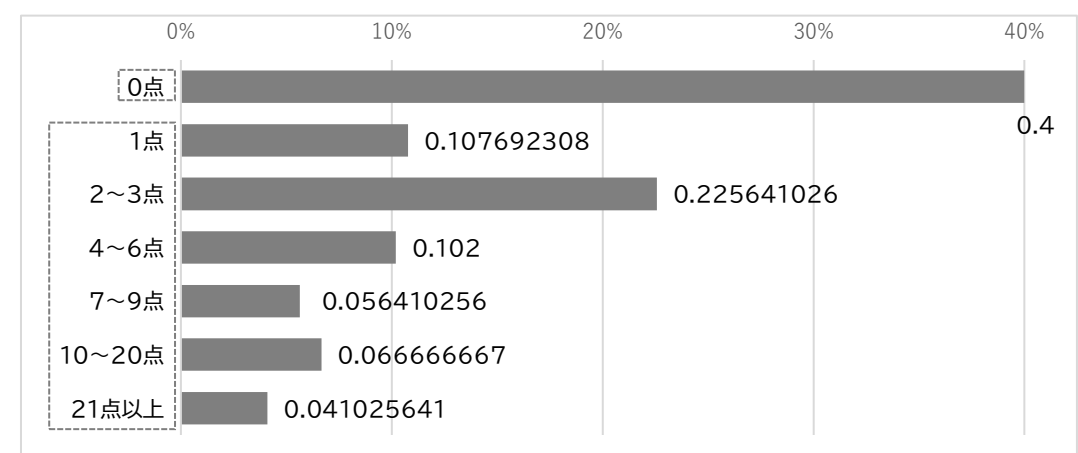
【読み取れること、ポイント】

～マンガや雑誌が対象に含まれていることに留意～

- 「0点(読まなかった)」が40%となっている一方で、「読んだ」は6割となっており、電子書籍はある程度浸透していることがわかる。

補足 <別途分析> 「10点以上」と回答した生徒が電子書籍を読んだ場所は、「自宅や友達の家(81%)」「教室(5%)」「書店・古本屋等(33%)」であることがわかった。

補足 <【問5】紙の本との比較> 「紙の本」を読まず「電子書籍」だけ読んだ生徒は45%となっている。



「電子書籍の利用状況(読書時間)」

【問11】先月、1か月の間に、「電子書籍」を1日当たり、「どれくらいの時間」読みましたか。

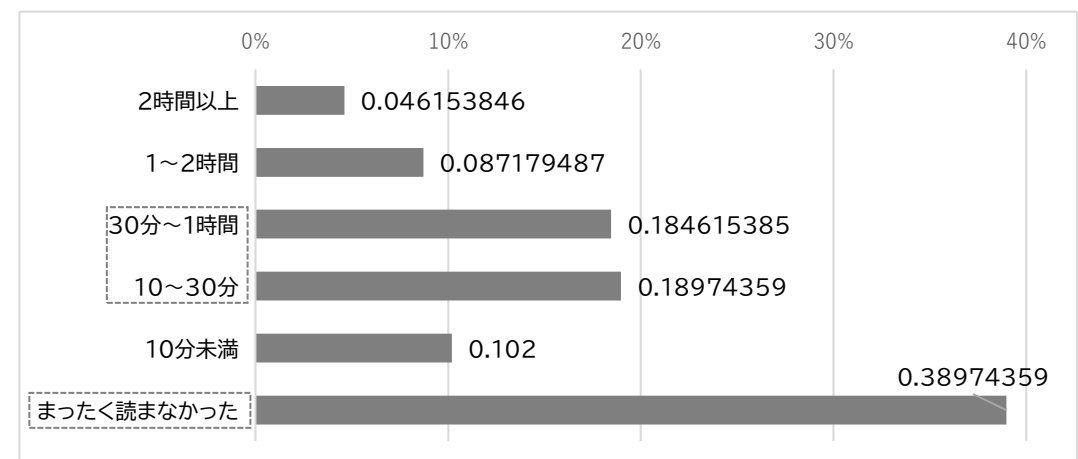
	〈回答数〉	〈割合〉
1. 2時間以上	9	4.6%
2. 1～2時間	17	8.7%
3. 30分～1時間	36	18.5%
4. 10～30分	37	19.0%
5. 10分未満	20	10.2%
6. まったく読まなかった	76	39.0%

【読み取れること、ポイント】

～マンガや雑誌が対象に含まれていることに留意～

- 「まったく読まなかった」が39%と最も多く、次いで「10～30分」「30分～1時間」(共に19%)と続く。「2時間以上」は5%となっている。

補足 <【問8】紙の本との比較> 「30分以上の読書内容」としては、「電子書籍(32%)」の方が「紙の本(22%)」より多くなっている。～マンガや雑誌が対象に含まれていることに留意～



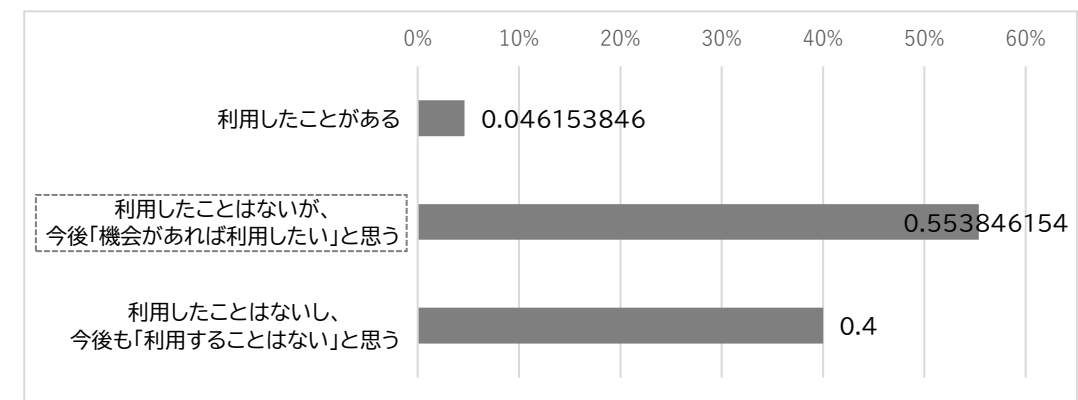
「古賀市の電子図書館の利用状況等」

【問12】古賀市立図書館の「電子図書館は、令和3年3月からサービスを開始しています」が、「利用したことがありますか」また「今後利用したい」と思いますか。

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 利用したことがある	9	4.6%
2. 利用したことはないが、今後「機会があれば利用したい」と思う	108	55.4%
3. 利用したことはないし、今後も「利用することはない」と思う	78	40.0%

【読み取れること、ポイント】

- 「利用したことがある」は5%で、広く浸透していない状況がうかがえる。
- 「利用したことはないが、今後機会があれば利用したいと思う」と回答した生徒が56%あり、今後利用拡大に向けた周知など働きかけが必要と考えられる。



※次に“高校生の読書量を増やしていくためのアイデア”についてお聞きします。

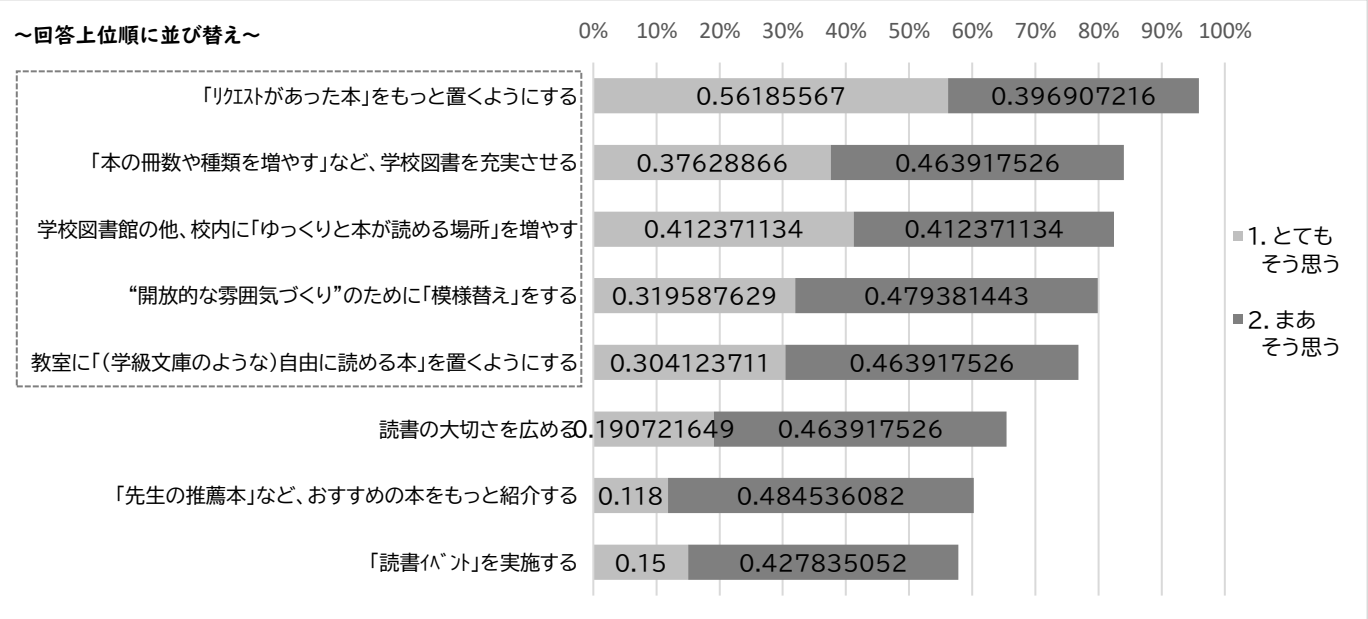
「学校図書館をもっと利用したくなるために必要なこと」

【問13】どのようにすれば、あなたは“もっと学校図書館を利用したくなる”と思いますか。

	〈回答数〉				〈割合〉			
	1.とても そう思う	2.まあ そう思う	3.あまり そう思わない	4.そう 思わない	1.とても そう思う	2.まあ そう思う	3.あまり そう思わない	4.そう 思わない
① 「本の冊数や種類を増やす」など、学校図書館を充実させる	73	90	25	6	37.6%	46.4%	12.9%	3.1%
② 「リストがあった本」をもっと置くようにする	109	77	5	3	56.2%	39.7%	2.6%	1.5%
③ 「先生の推薦本」など、おすすめの本をもっと紹介する	23	94	65	12	11.8%	48.5%	33.5%	6.2%
④ 「読書イベント」を実施する	29	83	66	16	15.0%	42.8%	34.0%	8.2%
⑤ 読書の大切さを広める	37	90	51	16	19.1%	46.4%	26.3%	8.2%
⑥ “開放的な雰囲気づくり”のため「図書館の模様替え」をする	62	93	31	8	32.0%	47.9%	16.0%	4.1%
⑦ 教室に「(学級文庫のような)自由に読める本」を置くようにする	59	90	39	6	30.4%	46.4%	20.1%	3.1%
⑧ 学校図書館の他、校内に「ゆっくりと本が読める場所」を増やす	80	80	30	4	41.2%	41.2%	15.5%	2.1%

【読み取れること、ポイント】

- 「リストがあった本(96%)」や「冊数や種類の増(84%)」といった『図書資料の充実』が最も多く、次いで「図書館以外でゆっくりと本が読める場所の整備(82%)」や「図書館の開放的な雰囲気づくり(80%)」、「教室内文庫の整備(77%)」の順となっている。
- 高校生が好む本などを手に取りやすく、また読みやすい場所等の環境を整えることが求められている。



「市立図書館をもっと利用したくなるために必要なこと」

【問14】どのようにすれば、あなたは“もっと市立図書館を利用したくなる”と思いますか。

	〈回答数〉				〈割合〉			
	1.とても そう思う	2.まあ そう思う	3.あまり そう思わない	4.そう 思わない	1.とても そう思う	2.まあ そう思う	3.あまり そう思わない	4.そう 思わない
① 「新刊書」「専門書」などをもっと置くようにする	49	100	33	12	25.3%	51.5%	17.0%	6.2%
② 「高校生が好む本」などをもっと置くようにする	119	66	5	4	61.3%	34.0%	2.6%	2.1%
③ 「高校生向けの電子書籍」を増やす	71	95	22	6	36.6%	49.0%	11.3%	3.1%
④ 「高校生向けの本」があることをもっとお知らせする	67	102	20	5	34.5%	52.6%	10.3%	2.6%
⑤ 高校生向けの「特集コーナー」「おすすめの本」紹介により、本を手に取りやすくする	62	101	25	6	32.0%	52.0%	12.9%	3.1%
⑥ リアルができることをもっとお知らせする	35	101	50	8	18.0%	52.1%	25.8%	4.1%
⑦ 「図書館の資料の探し方」をもっとお知らせする	33	89	58	14	17.0%	45.9%	29.9%	7.2%
⑧ 「高校生を対象とした読書イベント」を開催する	21	89	67	17	10.8%	45.9%	34.5%	8.8%
⑨ “気軽に入れるような雰囲気” “くつろぎスペース” づくりなど「模様替え」をする	74	92	24	4	38.1%	47.4%	12.4%	2.1%
⑩ 「飲み物など」を持ち込めるようにする	71	87	25	11	36.6%	44.8%	12.9%	5.7%

【読み取れること、ポイント】

- 「高校生が好む本(95%)」や「高校生向けの電子書籍(86%)」といった『図書資料の充実』に加え、「高校生向けの本があることのお知らせ(87%)」「特集コーナーやおすすめの本の紹介(84%)」といった『読書へ興味を引き出すような情報の提供など効果的な働きかけ』が求められている。
- 「気軽に出入りできて、くつろげるような環境の整備(86%)」も求められている。

